

編集・発行 甲南英文学会事務局
〒658-8501
神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学文学部英語英米文学科気付
発行日 2009年4月3日

甲南英文学会役員会報告

去る2009年3月18日、甲南英文学会役員会が開催され、2008年度収支決算報告(案)、2009年度予算案、2009年度定期総会・大会、甲南英文学会規約第10条の改正案、『甲南英文学』投稿規定改正案、甲南英文学会研究発表規定改正案などについて話し合われました。なお、2008年度収支決算報告(案)、2009年度予算案、規約・規定改正案については、総会においてご承認をいただきたいと思っております。

1) 大会準備委員会より

2009年度(第25回)甲南英文学会定期総会・研究発表の日程は6月27日(土)と決定されました。本年は研究発表と講演会を開催することになりました。つきましては発表希望者を募集します。ご希望の方は、発表要旨を1200字程度にまとめたものを1部プリントアウトして郵送し、電子データを任意の方法で大会準備委員長宛(<fukusima@konan-u.ac.jp>)に提出してください。締切は5月15日(金)です。

なお、今後の総会へ向けて企画案をお持ちの方は、お知らせください。

本年度の講演会はアメリカ文学分野にて人選を調整中です。当日のプログラム詳細については追って連絡いたします。奮ってご参加ください。

2) 編集委員会より

a) 現在『甲南英文学』の編集作業が進行中です。

b) 『甲南英文学』のバックナンバーの電子化が提案され、役員会にて承認されました。甲南英文学会のウェブサイト構築し、そこで公開する計画です。

c) 『甲南英文学』のISSN登録が提案され、役員会承認されました。これにより、国立国会図書館に『甲南英文学』が所蔵されることとなります。

d) 『甲南英文学』に別冊を設けて、会員が論集等を安価に発行できるシステムをつくってはどうかという意見が出されました。これについてはただちに実行できないかもしれないが前向きに検討する方向が決まりました。

3) 各種規約改正案について

以下の規約・規定改正案が承認されました。細かい文言については調整中です。

a) 甲南英文学の編集委員は現行では6人と規定されているが、投稿数の現況からみて、柔軟に編集委員を加減することができる体制が望ましいと考えられるため、規定を改正して編集委員を「若干名」とする。

b) 『甲南英文学』投稿規定および甲南英文学会研究発表規定において「フロッピーデ

イスク」の提出が定められているが、これが現実に即していないため、フロッピー以外の方法（例えば電子メール）でも電子データを受け付けることができるように各規定の文言を改正する。

c) 「甲南英文学会研究発表規定」において、「銓衡および研究発表の割り振り」を『甲南英文学』編集委員会が行うことが規定されているが、これを「大会準備委員会」が行うように規定を改正する。

d) 「甲南英文学会研究発表規定」において、発表要旨の長さの規定が原稿用紙とタイプライターを前提として「A4判 400字詰め原稿用紙3枚（英文の場合は、A4判タイプ用紙ダブルスペースで2枚）程度」となっているが、ワープロが主流の現状に合わせ、「1200字（英文の場合は500語）程度」と改正する。

e) 発表時間は「一人30分以内（質疑応答は10分）」となっているが、英語学分野の発表プログラムと文化文学分野の発表プログラムの時間のすりあわせを柔軟に行うことを可能にするために「原則として」の一句を入れる。

総会にて以上の規約変更を提案しますのでご承認をいただきたいと思います。

4) 事務局より

新年度にあたり、住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせください。なお、個人情報保護の観点から、会員名簿の配布を廃止いたしました。会員の連絡先を知りたい方は直接事務局までお問い合わせください。また、問い合わせに対して自分の連絡先を公開されたくない方も事務局までご連絡ください。

なお、NEWSLETTER No. 44でお伝えした新役員一覧から新会計監査が抜けていました。お詫びいたします。既報の新役員と共に以下に改めてお知らせいたします。

新役員一覧：

会長	青山義孝
副会長	和栗了
幹事	中谷健太郎
	沖野泰子
	牧木綿子
会計	鷺尾順子
	水本有紀
編集委員長	大森義彦
大会準備委員長	福島彰利
会計監査	横山三鶴
	堂村由香里
評議員 A	竹中美奈子
評議員 B	福田稔
評議員 C	入学直哉
学生評議員	上宮真紀
甲南大学評議員	David Rycroft